災害発生時の心得

災害発生時の心得～むやみに移動を開始せず、落ち着いた行動を～

大規模な災害が発生すると、公共交通機関が運行を停止し、自宅へ帰ることが困難になることが予想されます。

災害発生時に多くの人が一斉に徒歩で帰宅を始めると、火災や沿道の建物からの落下物などにより負傷する恐れがあり危険であるほか、災害時に優先されるべき救助・救急活動の妨げとなります。

【災害発生時には「むやみに移動を開始しない」】

- ○ まずは自分の身の安全を確保し、職場や集客施設等の安全な場所にとどまりましょう。
- ○ 災害用伝言サービスにより、家族の安否や自宅の無事を確かめましょう。
  （毎月１日と15日などに体験利用ができます。）
- ○ 交通情報や被害情報などを入手しましょう。

※ 災害用伝言サービス

- ・ 災害用伝言ダイヤル（171）は、災害時に、固定電話、携帯電話等の電話番号宛に安否情報（伝言）を音声で録音（登録）し、全国からその音声を再生（確認）することができます。
- ・ 災害用伝言板は、携帯電話等のインターネット接続機能により、被災地の方が伝言を文字によって登録し、携帯電話等の番号をもとにして全国から伝言を確認できます。
- ・ 災害用伝言板（web171）は、パソコンやスマートフォン等から固定電話や携帯電話の電話番号を入力して安否情報（伝言）の登録、確認を行うことができます。

【日ごろから準備しておきたいこと】

- ○ 事前に家族などと発災時の安否確認の方法、集合場所を話し合っておきましょう。
- ○ 職場などに飲料水や食料、懐中電灯、手袋、携帯ラジオ、地図、運動靴、マスク、除菌シートなどを用意しておきましょう。
- ○ 徒歩やバスにより帰宅経路の状況を確認しておきましょう。
- ○ 携帯電話の充電器やモバイルバッテリーなどを持ち歩きましょう。

【徒歩帰宅者支援の取り組み】

千葉県を含む九都県市では、コンビニエンスストア、ファミリーレストラン、ガソリンスタンド等と徒歩帰宅支援に関する協定を締結しています。

これらの店舗では、災害発生時に水道水やトイレの提供のほか、道路交通情報などを可能な範囲で提供していただけます。

こうした店舗には、「災害時帰宅支援ステーションステッカー」が掲示されていますので、日頃から帰宅経路の店舗の場所を確認しておくと安心です。

※　九都県市：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、
　　相模原市

※　災害時帰宅支援ステーションステッカー

・ コンビニエンスストア等

・ 千葉県石油商業組合に加盟する県内のガソリンスタンド